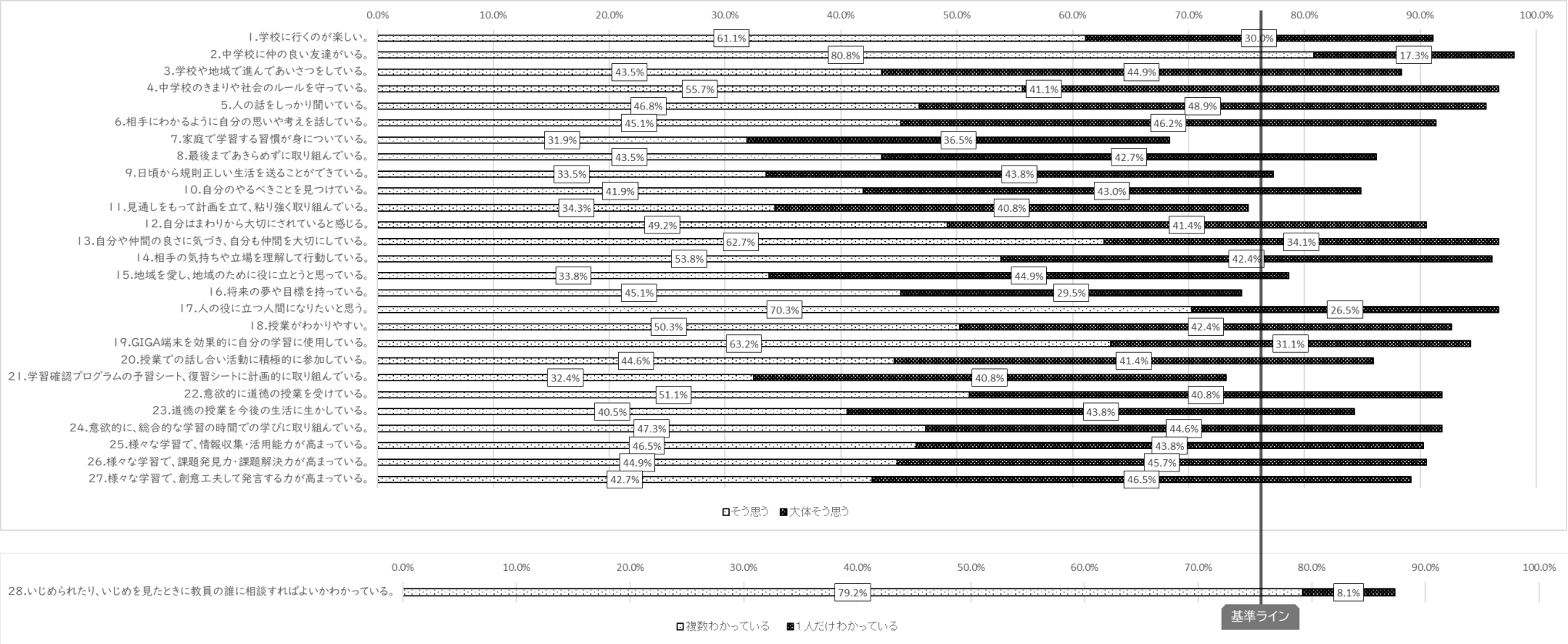


令和8年度 上京中学校 学校評価アンケート結果（前期）

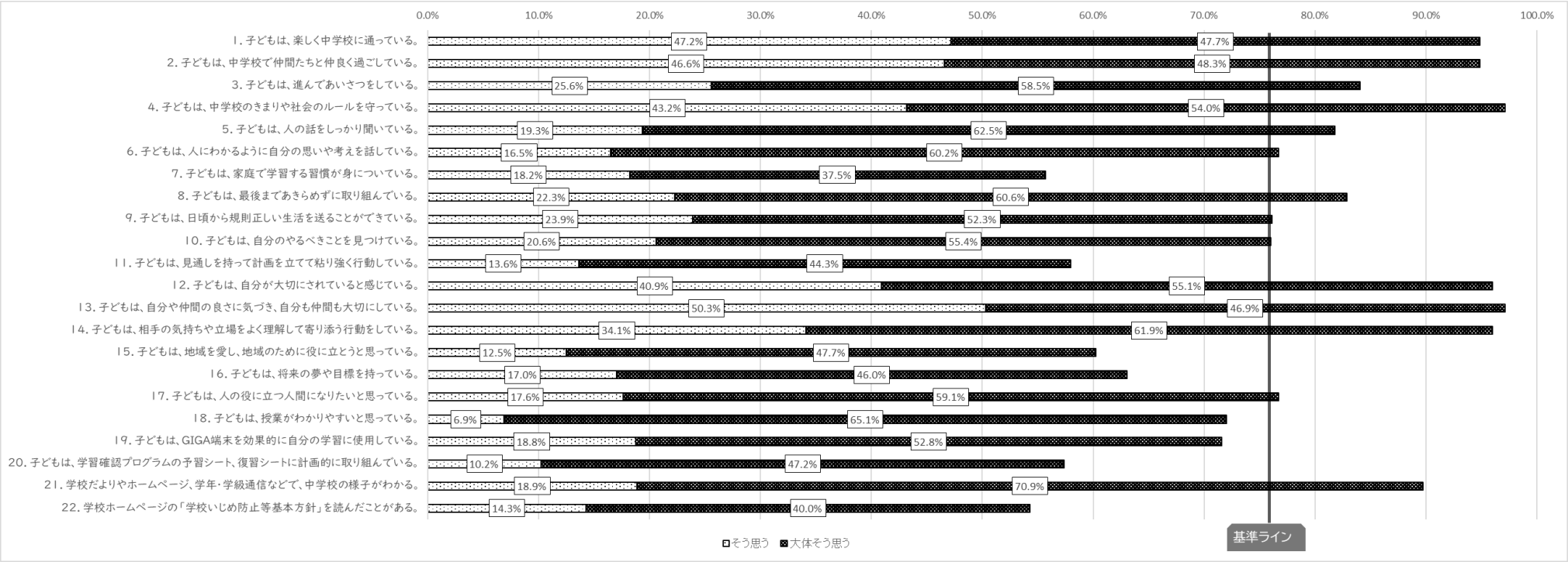
【結果の見方について】

- ・生徒、保護者、教職員とも Forms にてアンケートに回答していただきました。
- ・肯定的な回答のみ（横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順）をグラフ化し、75%を判断基準としています。

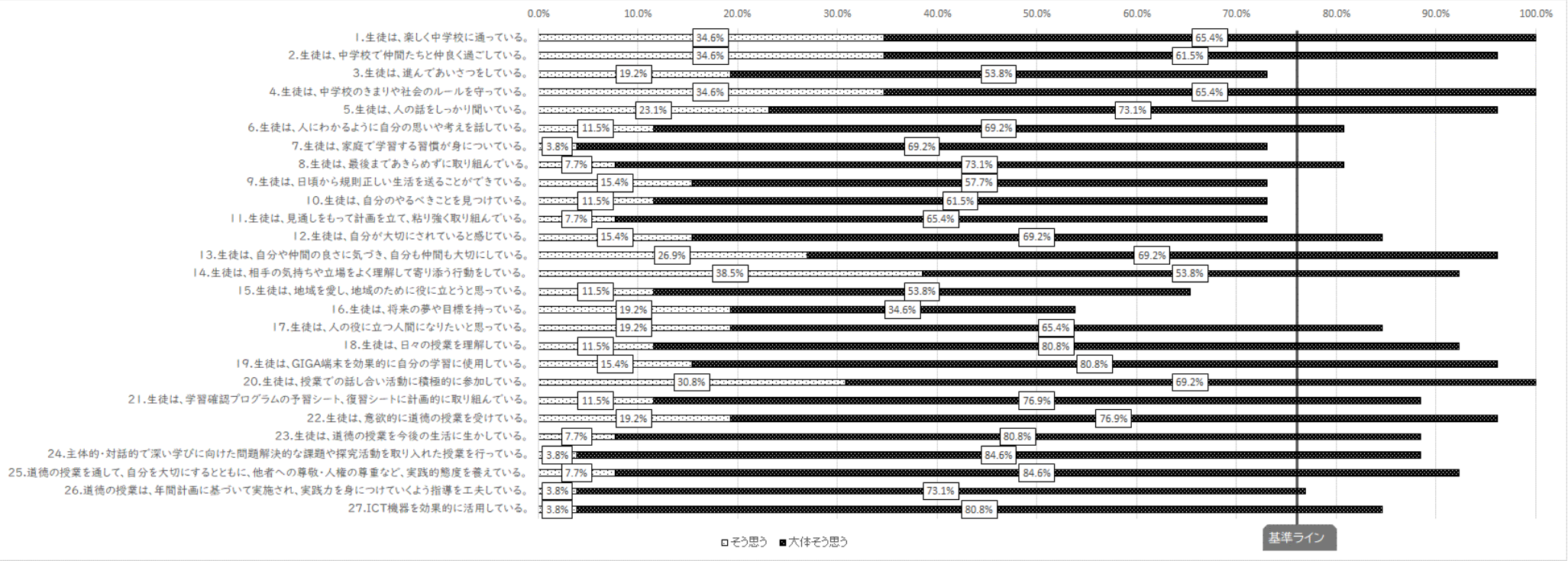
生徒



保護者



教職員



【結果をもとにした考察】

＜設問 19・25＞情報収集・活用能力（知識及び技能）

生徒の「GIGA 端末を効果的に活用している」（94.3％）、「情報収集・活用能力が高まっている」（90.3％）はいずれも高い結果となりました。ICT を活用した授業改善や探究的な学習活動が定着し、本校が目指す情報収集・活用能力の育成が着実に進んでいるものと考えられます。今後は、情報を収集するだけでなく、必要な情報を分析・活用し、自分の考えを形成して発信する力の向上を目指してまいります。

＜設問 20・24・26＞課題発見力・課題解決力（思考力、判断力、表現力）

話し合い活動への参加（86.0％）や課題発見力・課題解決力（90.6％）は高い評価となりました。生徒・教職員ともに肯定的な評価となっており、協働的な学びや課題解決型の学習が定着しつつあることがうかがえます。今後も主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を進め、生徒が自ら課題を見いだし解決できる力の育成に努めてまいります。

＜設問 6・27＞創意工夫して発信する力（思考力、判断力、表現力／学びに向かう力、人間性等）

創意工夫して発信する力については、生徒評価が89.2％と概ね良好な結果となりました。また、「相手にわかるように自分の思いや考えを話している」についても 91.2％と高い評価となっています。今後は、探究学習や発表活動をさらに充実させ、自分の考えを整理し、相手を意識して分かりやすく伝える力を一層高めることで、表現力・発信力のさらなる育成を図ってまいります。

＜設問 8・11＞困難に立ち向かう心（チャレンジ精神）

「最後まであきらめずに取り組む」は 86.2％と高い評価でしたが、「見通しをもって計画を立て、粘り強く取り組む」は 75.1％にとどまりました。挑戦する意欲や粘り強さは育っている一方で、学習や生活を自ら見通しをもって調整する力には課題が見られます。今後は自己決定の場面を増やし、目標設定や振り返りを重視した指導を通して、自己指導能力の育成を進めてまいります。

＜設問 12・13・14＞自他理解と自尊心（自己肯定感・自己有用感）

「自分は大切にされている」（90.6％）、「仲間も大切にしている」（96.8％）、「相手の立場を理解して行動している」（96.2％）は、いずれも高い結果となりました。道徳教育や人権学習、生徒会活動等を通して、互いを認め合い支え合う学校風土が育まれている成果であると考えられます。今後も多様な価値観を尊重しながら、生徒一人一人が安心して学び成長できる集団づくりを進めてまいります。

＜設問 15・17＞社会貢献意識・地域への愛着

「人の役に立ちたい」（96.8％）は非常に高い結果となりました。一方で、「地域を愛し、地域のために役に立とうと思っている」は 78.7％、「将来の夢や目標を持っている」は74.6％となっており、地域社会とのつながりや将来の自己実現への意識には課題が見られます。今後はキャリア教育や地域と連携した学習活動を充実させ、自らの将来や社会との関わりについて主体的に考えられる力を育成してまいります。

【生徒アンケートから見える生徒の成長と課題】

■ 校則やルールを守る意識（設問 4）

生徒の校則に対する理解は高く、規範意識が定着してきています。今後は「さわやかなマナー」の実践を通して、自ら考え行動できる生徒の育成を目指します。

■ ICT を活用した学び（設問 19・25）

GIGA 端末の活用や情報収集・活用能力に関する評価は非常に高く、本校の強みとなっています。ICT を活用した探究的な学びをさらに充実させ、自ら学びを深める力の育成につなげていきます。

■ あいさつの習慣（設問 3）

生徒のあいさつに対する意識は高いものの、教職員との評価には差が見られました。昨年度から同様の傾向が続いており、自ら進んであいさつする姿の定着が今後の課題です。あいさつの意義や価値を共有しながら、生徒会活動や日常の声かけを通して、気持ちのよいあいさつが広がる学校づくりを進めていきます。

■ 自己肯定感・自己有用感（設問 12・13・14）

自己肯定感や他者理解に関する項目は高い水準を維持しています。人権学習や日常の教育活動を通して、互いを尊重し支え合う学校風土が育まれている成果と考えられます。今後も安心して学べる環境づくりを大切にしていきます。

■ 計画的な学習（設問 7・11）

家庭学習習慣や計画的な学習については依然として課題が見られます。特に保護者評価との差から家庭での主体的な学習習慣の定着に向けて改善の余地があります。目標設定、振り返り、改善を繰り返す自己指導能力の育成を重点的に進めていきます。

■ 夢づくり・社会貢献意識（設問 15・16・17）

人の役に立ちたいという思いは高く見られる一方、地域貢献意識や将来の目標については課題が見られます。今後はキャリア教育や地域と連携した学習活動を充実させ、生徒が自分の将来や社会とのつながりを主体的に考えられるよう支援していきます。

【保護者のみなさまへ】

令和 8 年度前期学校教育アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

アンケート結果からは、ICT 機器を活用した学習や、仲間を大切にしながら学び合う姿勢、自己肯定感や自己有用感の高さなど、本校の教育活動の成果がうかがえました。特に、「人の役に立ちたい」と考える生徒が多く、他者を思いやる心が着実に育っていることがわかりました。

一方で、家庭学習習慣や計画的に学習へ取り組む力、将来の夢や目標を具体的に描く力については課題も見られました。学校では、授業と家庭学習のつながりを意識した取組や、キャリア教育の充実を図りながら、生徒の自己指導能力の育成に努めてまいります。

また、GIGA 端末については学習活動に効果的に活用されている一方で、家庭での活用の仕方についても継続した支援が必要であると考えております。学校でも引き続き、学習のための教具として適切に活用できるよう指導を進めてまいります。

いただいたご意見やアンケート結果を真摯に受け止め、教育活動の改善とよりよい学校づくりに生かしてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。